

E7エミュレータソフトウェア V.3.00 Release 00への リビジョンアップのお知らせ

オンチップデバッグエミュレータE7用エミュレータソフトウェアを V.2.06 Release 00からV.3.00 Release 00にリビジョンアップしました。

1. リビジョンアップ対象製品

以下の製品用のエミュレータソフトウェアが該当します。

H8ファミリ H8/300H Tiny、H8/300H Super Low PowerおよびH8/300L Super Low Powerシリーズ およびM16Cファミリ R8C/Tinyシリーズ用E7

製品型名 : HS0007TCU01H

2. リビジョンアップ内容

2.1 サポートMCUの追加

デバッグ対象のMCUとして、H8/300H Tinyおよび H8/300L Super Low Power シリーズの一部を新たにサポートしました。

(1) H8/300H Tinyシリーズ H8/36077F

(2) H8/300L Super Low Powerシリーズ H8/38327FおよびH8/38347F

2.2 統合開発環境High-performance Embedded Workshopのリビジョンアップ

High-performance Embedded WorkshopをV.4.00.01へリビジョンアップしました。詳細は2005年4月1日発行のRENESAS TOOL NEWS "統合開発環境 High-performance Embedded Workshop V.4.00.01 へのリビジョンアップのお知らせ"(資料番号 : RSO-HEW_1-050401D) を参照ください。

最新版へは開発環境ホームページからオンラインリビジョンアップできます。

なお、E7エミュレータソフトウェアはHigh-performance Embedded Workshopのオートアップデート機能の対象になります。 オートアップデート機能の概要については、2005年3月

1日発行の RENESAS TOOL NEWS "統合開発環境 High-performance Embedded Workshop でのオートアップデート機能サポートのお知らせ" (資料番号 : RSO-HEW_1-050301D) を参照してください。

2.3 USBドライバの改善

- (1) ユーザプログラム実行中のホストマシンのCPU占有率が低くなりました。
- (2) デバッグ中にホストマシンがサスペンドモードへ移行しないようにしました。これにより、ユーザがE7との通信を切断していないにも関わらず デバッグ中に通信が切断されることがなくなりました。

2.4 R8C/Tiny E7エミュレータデバッガの機能改善および改修

2.4.1 機能改善

- (1) 複数エミュレータとの通信をサポート
1台のホストマシンに複数のE7を接続して、同時にデバッグすることが可能になりました。
- (2) IO定義ファイルの表示形式の変更
IO定義ファイルの内容をビットフィールド形式でIOウィンドウに表示する ようにしました。
- (3) Select Emulator modeダイアログボックスへのキャンセルボタンの追加
メニュー「デバッグ」→「接続」コマンドを選択すると表示される "Select Emulator mode"ダイアログボックスに「キャンセル」 ボタンを追加しました。

2.4.2 改修

- (1) IEEE695オブジェクトファイルをダウンロードしたときに、High-performance Embedded Workshopが異常終了する場合がある問題を 改修しました。
問題の詳細については2005年4月16日発行のRENESAS TOOL NEWS "E8 および E7 用エミュレータソフトウェア ご使用上のお願い" (資料番号 : RSO-E8_1-050416D) を参照ください。
- (2) IEEE695オブジェクトファイルをデバッグする際、for文など複数アドレスに同一ソース行情報が出力されるソースをMIX表示した場合、先頭アドレス分以外の命令が表示されない問題を 改修しました。
- (3) IEEE695オブジェクトをロードした際、128バイトを超える構造体の情報が ローカルウィンドウおよびウォッチウィンドウに

正常に表示されない問題を改修しました。

問題の詳細については2005年7月1日発行のRENEASAS TOOL NEWS "E8 および E7 用エミュレータソフトウェア ご使用上のお願い"(資料番号：RSO-E8_2-050701D)を参照ください。

2.5 H8 Tiny/SLP E7エミュレータデバuggaの機能改善

(1) メモリフィルのベリファイ機能改善

メモリフィル実行時にベリファイオプションが選択されている場合は、ベリファイを実行するようにしました。

3. リビジョンアップ方法

オンラインリビジョンアップ(無償)が可能です。

開発環境ホームページからアップデートプログラムをダウンロードしてアップデートを実行してください。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。